

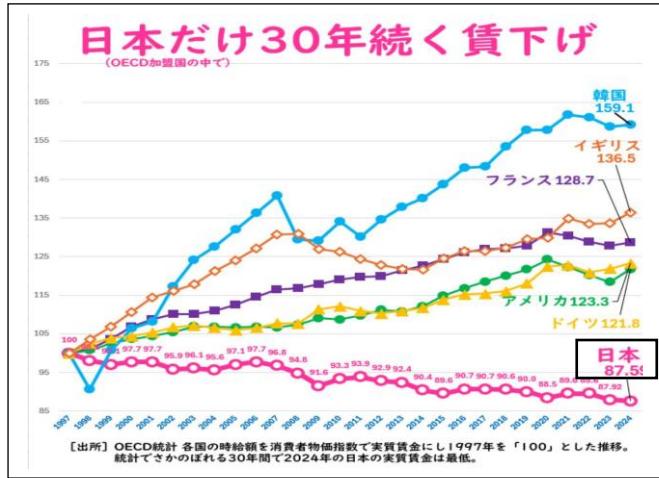
2026年春闘方針 こんな春闘にしよう！

すべての仲間の大幅賃上げをめざし、 地域での共同行動に取り組もう！

2026年2月3日 目黒地区労働組合協議会

2026年春闘をめぐる取組み状況

2026春闘へどう取組むか、各労働組合・団体で年末から討論が行われています。政府・大企業は「5%賃上げ」の継続を言っていますが、私たちのまわりでは、実質賃金低迷を開拓するには「10%以上」との声も広がっています。12月に発表された厚生労働省の毎月統計(10月分速報)で、実質賃金は前年同月比マイナス0.7%となり、1月より10ヶ月連続減少です。22年～24年度の3年連続マイナスで、25年度もマイナスが濃厚で、賃上げが物価高騰に追いついていません。



全労連・国民春闘共闘、11月の春闘討論集会で、賃上げ要求を前年から1000円引上げ、月額33000円以上(10%)としました。時間額は前年から50円上乗せし、250円以上(17%)です。また最低賃金要求は、従来の1500円から「いますぐ全国一律1700円以上、めざせ2000円」に引き上げています。最低生計費調査に物価高騰を加味して再計算すると、1700円以上が必要となっており、2000円に迫っています。これを正面からとらえ、要求をバージョンアップしています。

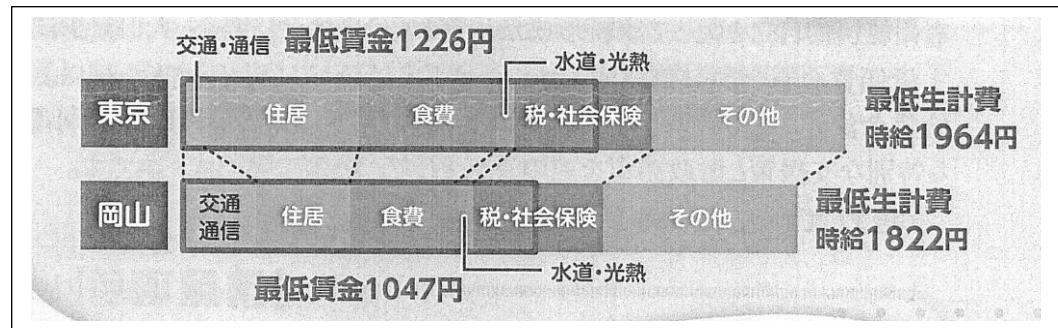
ケア労働者の大幅賃上げにも取り組んでいます。ケア労働賃金停滞が深刻です。厚労省「賃金引上げ等の実態に関する調査」では、25春闘の賃上げの全体平均は月額13601円で、前年を1640円上回ったのに対し、産業別集計の「医療・福祉」は5589円で、前年から1287円減り、全産業最低となっています。国立病院での全国一斉ストライキなどを繰り返し、要求を追及してきたことで、報酬引き上げを求める世論は事業者・自治体や患者・利用者にも「報酬10%引上げ」と広がっています。医労連などでは、「闘いを成果に結びつける春闘にしよう！」と呼びかけています。

連合は2年連続で5%賃上げ(ベア3%)を要求・実現したものの、実質賃金低迷を脱したことから、取り組みを見直すため、有識者による「未来づくり春闘」評価委員会を設置しました。しかし9月に発表した報告書は、「物価の後追いとなる賃金要求では、人々に前向きな賃金上昇期待を抱かせることが難しい」とする一方、26春闘の要求基準は「5%がひとつ目の目安となる」と、現状のままでした。11月の連合中央委員会で採択した春闘方針は、統一要求を5%以上とし、中小企業は6%、非正規雇用労働者は7%に上乗せするとしました。

連合加盟の各労組は、連合要求に上乗せをはかっています。UAゼンセンは方針案で、正社員要求が総額6%基準18000円。パート時給の要求は、制度昇給と合わせ7%基準85円としています。最賃についても、「企業内最賃が先行して1500円に達するよう取り組む」ともしています。

自動車、電機などの大企業労組が集まる金属労協は、17%要求を月額12000円以上と前年据え置きです。自動車総連はベア要求「12000円以上の実現にこだわる」とし、前回の「踏まえる」から表現を強化しています。機関労連は、ベア要求月額15000円以上とし、部門部会で上積みを認めるとしています。中小製造業のJAMは、ベア要求を前年より2000円引上げ、17000円以上、定昇込み21500円以上としています。





目黒労協 2026年春闘を取り組む基本方針

この2年、労働組合の頑張りで賃上げが実現しているものの、物価高騰がこれを上回っているため、実質賃金は増えずに個人の可処分所得も減少傾向にあります。日本経済の約7割は内需であり、経済を上向かせるには物価上昇幅に合わせ、着々と最低賃金を引き上げ、長年続く「低賃金・低消費」から抜け出す必要があります。

春闘の基本要求は、あくまでも基本給のベースアップが主軸の賃金要求であり、目黒労協が掲げる労働条件の目標を、春闘要求の重要な選択肢の1つとして闘いましょう。そしてすべての加盟組合が、賃金要求にとどまらない個別の職場要求・交渉を追及し、すべての仲間の大額賃上げ実現をめざし、地域の仲間たちと共に支え合い、団結して26春闘を最後まで闘い抜きましょう。

2026年春闘 私たちの要求

1. 物価高騰による実質賃金減少分を上回る大幅賃上げを！
2. 最低賃金は全国一律で今すぐ1,500円以上に、そしてめざそう2,000円を！
3. 障がい者などにも最低賃金を適用するなど、制度の改善をはかろう！
4. 裁量労働制の拡大や解雇の金銭解決、労働時間規制の適用除外など、労基法の解体を許すな！
5. 労働基本権を守り、違法就労と不当労働行為の撲滅に団結して闘おう！
6. 非正規労働者の待遇改善と男女同一労働同一賃金の確立！
7. 時間外労働や不払い残業をなくし、8時間働けば普通に暮らせる社会の実現を目指そう！
8. 福祉・社会保障の充実。年金制度、医療・介護制度に国民の声を反映させよう！
9. 自衛隊の海外派遣や憲法改悪に反対し『9条』を守ろう！
10. 軍事大国化に反対し、憲法違反の安保法制は廃止を！

2026年春闘での取り組み方

1. 春闘を契機に未組織労働者および未加盟労組への働きかけ
レクやホームページの活用、宣伝活動の取り組みなどを工夫強化して、労協全体で行動しよう。
2. 賃金・労働条件改善闘争での共同行動の推進
 - ① 職場要求を作ろう！ 「生活の現状を見つめなおし」と「多くの組合員が納得できる」そして、多くの労働者の「団結強化」に結びつく要求を作ろう。
 - ② 「労働条件の最低基準と目標」をみんなで認識し、職場の労働条件を総点検しよう。
 - ③ 職場内での取り組みにとどまらず、地域の2ヵ所組みには積極的に参加しよう。
3. 全国一律最低賃金制度、確立運動の取り組み
 - ① 「最低賃金」制度・仕組みや、「企業内最賃」に取り組もう！ また、「全国一律地域最賃」の早期実現に向けた取組みを地域や他団体などとも共同し、可能な取組みを追求しよう。
 - ② 働き方・労働法制改悪反対の取組みについて、執行委員会で教宣活動や行動を提起します。
4. 体制と財政
 - ① 委員会で方針が確定したのち、執行委員会に春闘闘争労組の出席を認めます。
 - ② 大会決定の春闘カンパ（1.6ヶ月分）の、早期納入を要請します。